

「豊後国の一孝女」にキャラクター・デザインと菓子が相次いで誕生しました。「和み系」のイメージもできつつあるようです。

キャラデザインや菓子誕生



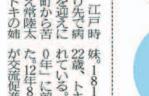
二孝女キャラクター。小山かよさん(左)と常陸太田市(右)がデザインしたもの

臼杵市野津町「吉四六さんに続け」

①二孝女を知っていますか？ どういったことをした人ですか。



小山かよさん



野口新一郎さん



臼杵朝日堂と野津町商工会が共同開発した「二孝女物語」。手前は二つのうち、左が「紅はるか十お茶」、右が「かばす」



②茨城県常陸太田市はどこにありますか？ 地図で調べてみよう。

③常陸太田市までどのくらいの距離があるだろう。現在、行くとするとどういった方法で行きますか？ どれくらいの時間かかるだろう。調べてみよう。

(2013年4月29日夕刊1面)

地の焼き菓子に。洋菓子に和の素材をミックスして、地の味に仕上げた。野津町の「ほさ」の二つの味に仕上げた。店の代表者、野口新一郎さんは「物語を読んで、親親切に想像して、味に仕上げた。」今後、自分の店だけでも、自分の店のトキハ本店でも販売を計画している。吉四六さんは負けないアームをうつりたい」と中止になれるか注目だ。

柄にも使われた。野津町の「もじ込めた」という。キャラクターはまだ通った。茅子「二孝女物語」は町の担当者は、商店街の一角にある菓子店。朝日堂は、常陸太田の花園局の支援を受けた町商工組合である。両市会が共同開発した。町の新島長。吉四六さんに続いた。野津を売り込みた。その後、自分の店だけでも、自分の店のトキハ本店でも販売を計画している。吉四六さんは負けないアームをうつりたい」と中止になれるか注目だ。

地の焼菓子に。洋菓子に和の素材をミックスして、地の味に仕上げた。野津町の「ほさ」の二つの味に仕上げた。店の代表者、野口新一郎さんは「物語を読んで、親親切に想像して、味に仕上げた。」今後、自分の店だけでも、自分の店のトキハ本店でも販売を計画している。吉四六さんは負けないアームをうつりたい」と中止になれるか注目だ。